



創樹



題字は 田中蘆雪さん

学園のあじさい

発行元
社会福祉法人創樹会
広島県福山市水呑町7187番地1
TEL (084)956-0255
FAX (084)956-5749

今、思うこと



まずは、このたびの西日本豪雨の被害に遭われた皆様へ謹んでお見舞い申し上げます。報道では、「数十年に一度しかない重大な災害が迫っている」と警告されておりましたが、被災状況が明らかになるにつれ、事態の深刻さに呆然とするばかりです。

甚大な被害をもたらした中国地方の梅雨も明け、夏が近づいてくると、二年前の相模原障がい者施設殺傷事件を思い出します。平成二十八年七月二十六日の未明、神奈川県相模原市の神奈川県立津久井やまゆり園において、十九名の命が奪われ、二十七名の人が傷つけられるという痛ましい事件が起こりました。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、傷つかれた方、ご家族、関係者の方々に御見舞い申し上げます。

多くの方にとってそうであったように、私にとってもこの事件は強い衝撃でした。そして加害者が元施設職員であったということが更に驚きややりきれない思いをもたらしました。

私を含めそれぞれの事業所、法人で働く職員は、日々事業所を利用されている皆さんと向き合い、食事・排泄・入浴といった生活の営みや、

様々な活動を共に行っています。職員が利用されている方のお手伝いをするのもあれば、利用されている方が職員を手伝って下さることもあります。相手との向き合い方がわからなかったり上手いかなかったりして、悩んだり、歯がゆく思ったり、相手・自分両方に対して苛立ちを覚えることは多くの方が経験されたことがあるのではないのでしょうか。目の前の方が掛けて下さる「ありがとう」の言葉や向けて下さる満面の笑顔に喜びを感じ、感謝することもあったのではないのでしょうか。共に過ごす日々の中で様々な思いがそれぞれの方の中を通り過ぎていったのではないかと思います。

事件に関しては沢山の報道や出版物があります。私はごくわずかの物にしか目を通していませんが、読んでいるうちに息苦しさを感じ、何度も閉じて、また開いて読んでを繰り返しました。私を思苦しくさせていたものは、文中の表現を借りれば「弱者や少数者に向けられた差別的なまなざし」であったのかもしれませんが、それは「社会」の中にあるだけでなく、自分自身の中にも感じていたため、何度も止まってしまったのかもしれない。目の前の方たちにきちんと向き合い、立ち止まって考えること、自分を見つめなおしてみること、それは私がしなければならぬこと、これから先もしていかなければならないことだと思っています。

サポートセンターひびきの家

管理者 片岡志保美



4月29日(日・祝)に第48回創樹祭が行われました。「学園の人達が楽しめるお祭りに!そこに地域の方が来園し、お互いに楽しみ交流を深める」を目的として、実行委員を中心に準備をすすめました。当日は、天候に恵まれ、最終的に1100名を超える大勢の方に来場していただきました。

創樹祭

H30年度

模擬店 Stalls



あゆみ苑前やグラウンドを中心に模擬店を出店しました。地域の事業所や学校、法人内の事業所などに協力頂き、多くの店舗を出店する事が出来ました。

模擬店の内容は、焼きそば、鶏肉のハーフ揚げとオニオンリングフライ、たこ焼き、カレー、お餅、クッキー、アイス、ワッフル等、幅広くご用意することができ、お陰様でどの店舗もほぼ完売となりました。昼食時には、多くの人たちで賑わいました。また、サイコロゲームやバルーンアート等のゲーム関係も、利用者の方や地域の子どもたちが大変喜ばれていました。

お祭りを楽しむ学園の人たちは、普段以上に素敵な笑顔をたくさん見れた1日でした。



舞台 Stage



舞台でのステージ発表は、地域の中학생や高校の生徒さんたち、こども園の方に出演していただきダンスや演奏で会場をおおいに盛り上げていただきました。

また、尾道を拠点にイベントの企画等を行っている、筒井賢さんにも出演していただき、ギターの弾き語りやトークで多くの皆さんと楽しい一時を過ごすことができました。

ステージ発表の後には、皆さんお待ちかねの豪華賞品を準備したビンゴゲーム大会を行いました。番号の発表ごとに一喜一憂しながら多くの皆さんに豪華賞品が当たりました。

皆様のおかげで、大きなトラブルも無くスムーズな進行が出来たのではないかと思います。ありがとうございました。



利用される方にとっては、毎年恒例の楽しみの一つだと思います。舞台発表や模擬店等皆さんが楽しみにされていることを継続しつつ、新しい事に挑戦していきたいと思います。

最後に、第48回創樹祭開催に当たり、家族会、ボランティア、関係者の皆様のご協力のお陰で多くの方楽しんでいただき、無事終わることができました。本当にありがとうございました。利用者の皆様、地域の皆様が毎年、楽しみにされているお祭として、継続・進化していきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



日本発達障害学会第53回研究大会

今年の8月、日本発達障害学会の研究大会が当地福山で開催されます。長年、ご指導をいただいている菅野敦先生が理事長を務めておられる日本発達障害学会の第53回研究大会の事務局を当法人が仰せつかり、福山市立大学を会場に11日（土）12日（日）の2日間の日程で開催されます。「生活者という視点からの発達支援」～どんな生きづらさを抱え、どう生きるのか～ という大会テーマで、全国の大学をはじめ教育・医療機関、福祉施設等から研究者や実践家が集い、講演やシンポジウム、ポスター発表等が行われます。現在最先端の研究や発達障害への取り組みに触れることができる貴重な機会です。

また、特別講演はフランス国立現代芸術センターリュウ・ユニック館長のパトリック・ギゲール氏による「世界のアールブリュット、日本のアールブリュット」と題した講演があります。

さらに大会長講演では、当法人の西山理事長が、「個性を活かすFUKUROKU ARTの世界～世界に羽ばたくアウトサイダー・アート～」の演題で講演を行います。

そして、一般公開講座では、「意思決定支援に取り組むために」と題して、社会福祉法人あゆみの家の田口道治氏の講演、さらに実行委員会企画のラウンドテーブルでは「発達障害児の早期支援の地域ネットワーク」「学校と放課後等デイサービスの連携」「夢を語ろう—こんなことがしたい、こんな風にありたい—」「アール・ブリュット＝障害者アートなのか」と4本の企画が予定されており、この公開講座とラウンドテーブルはどちらも無料で聴講することができます。（要申込み）

すでに、事前申込みは締め切られましたが、当日参加も可能です。詳しくは、日本発達障害学会 第53回研究大会のホームページからご確認ください

生活者という視点からの発達支援

～どんな生きづらさを抱え、どう生きるのか～

日本発達障害学会 第53回研究大会

個性を活かす FUKUROKU ART の世界
～世界に羽ばたくアウトサイダー・アート～

大会長：西山堅太郎
(社会福祉法人創樹会 福山六方学園)

2018年
8/11(土)・12(日)

会場：福山市立大学

〈会場へ〉 〒771-0964 広島県福山市港町 2-19-1
 当日券：山崎会館前 福山駅より 15分 徒歩 約 10分
 入場券：山崎会館前 福山駅より 15分 徒歩 約 10分
 入場券：山崎会館前 福山駅より 15分 徒歩 約 10分

〈開催地〉
 広島県（とうとう）と称される福山の
 出入り口を管理する江戸時代の名所、
 福山の歴史を伝える歴史の宝庫を
 見る、福山のシンボルです。

Japanese Association for the Study of Developmental Disabilities

(問い合わせ先) 第53回研究大会事務局 〒720-0832 広島県福山市水石町 7187 番地 1 社会福祉法人 創樹会 内
 TEL: 084-956-0235 FAX: 084-956-5749 e-mail: jima@sojukai-fukuroku.or.jp

日本発達障害学会 第53回研究大会 webサイト

<http://jasdd53.jp/>

福六 FUKUROKU ARCHIVES の津ミュージアム



福六アーカイブズ
FUKUROKU ARCHIVES

アーカイブサイトの公開にあわせ、同名の展覧会 『福六アーカイブズ』を開催しました。本展では、同サイトで現在公開している10名のご利用者さんの作品を中心にご紹介。なお、今年度も引き続き、法人内にある作品の調査・記録を進めていく予定となっています。

また6月末からは、文字や言葉にまつわる様々な表現をご紹介する次回企画展を開催いたしますので、ぜひご来館ください。

昨年度より福六の津ミュージアムでは、日本財団の助成をいただき、これまで学園の日常生活の中でつくられてきた様々な作品や表現を調査・記録・保存し、インターネットで公開するデジタル・アーカイブ作業を進めてきましたが、4月28日に、ようやくwebサイト「福六アーカイブズ」として、その成果を公開することができました。下記のURLより、それらの作品情報を閲覧頂ける状態になっていますので、どうぞご覧ください。

また、4月28日(土)～ 5月27日(日)にかけては、同アーカイブサイトの公開にあわせ、同名の展覧会 『福六アーカイブズ』を開催しました。本展では、同サイトで現在公開している10名のご利用者さんの作品を中心にご紹介。なお、今年度も引き続き、法人内にある作品の調査・記録を進めていく予定となっています。

福六の津ミュージアム Facebook
福六アーカイブズ webサイト

<https://www.facebook.com/tomonotsumuseum>
<https://fukuroku-archives.abtm.jp/>

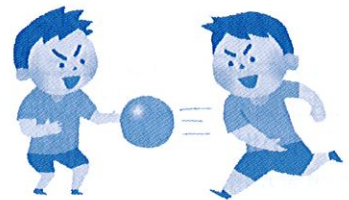
広島県東部地区 親善球技大会

6月3日、広島県立びんご運動公園での、親善球技大会に当法人ではあゆみ苑、福山六方学園。友の家の利用者さんたちが参加しました！！

あゆみ苑成人寮

あゆみ苑ではフライングディスクと円形ドッジボールに十四名が参加しました。前日にはあゆみ苑でフライングディスクの練習をして当日に臨みました。

当日は気持ちのいい晴



れ間が広がり、絶好のスポーツ日和となりました。円形ドッジボールでは、相手のボールを避けたり取ったり、フライングディスクでは円形のゴールに一生懸命ディスクを投げ入れました。しかし、健闘むなしく、両競技とも一回戦敗退となってしまいました。その後、お昼にお弁当をみんなと一緒に食べてあゆみ苑へ帰りました。

今回は一回戦敗退という結果になりました

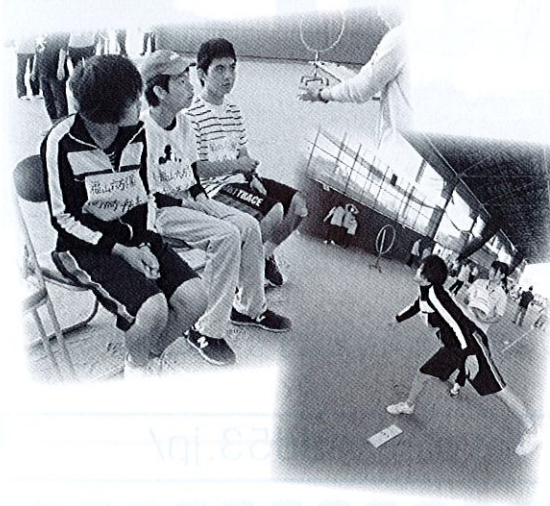


たが、皆さんとても良い表情で競技に参加されていたのが印象的でした。来年は一回戦突破を目標に、練習を積み重ねて大会に挑めるようにスタッフも一緒に頑張っていきたいと思っています。

福山六方学園

福山六方学園からは、三人の方がチームとなり、フライングディスクに参加しました。当日は、絶対勝つぞ！と気合十分で競技に向かい、輪の中を目標けてフリスビーを投げました！が、残念ながら一回戦で敗退し、悔しい結果となりました。次回はしっかり練習をして「次は勝とう！」と誓いました。

また、勝負では負けてしまいましたが素敵な出来事もありました。大会に昨年度で福山六方学園を退所された方が、新しい事業所から参加されており、久しぶりに再会することができました。競技をするだけでなく、他事業所との交流や笑顔になる出会いもあり、利用者・スタッフ共々楽しい思い出になりました。



運動会に参加しました！ 福山六方学園

五月二十六日(土)に水呑小中学校の運動会が行われ、福山六方学園からは三年生二名が参加しました。友達と協力して汗を流す姿がとても印象的でした。また、各組を高学年が中心にまとめ、一生懸命応援し、運動会を盛り上げようとする姿に、とても迫力がありました。六月二日(土)に沼隈特別支援学校の運動会があり、今年度は高等部三名、中学部二名、小学部一名の方が参加されました。天候は快晴で運動会日和となったこの日、エがお家で生活されている青年期の方たちもスタッフと一緒に、福山六方学園総出で応援に行きました。暑い中しっかりと体を動かして運動会をがんばる子どもたちの姿に感動させられ、スタッフも元気をもらいました。運動会を通してみんなが感じたことや頑張ったことは今後の成長に繋がっていくのだと思います。学園では見られない皆さんの素敵な姿がたくさん見られた運動会でした。



JFEフェスタ

Festival

五月十三日(日)にJFEスチール西日本製鉄所で行われたJFEフェスタに出店しました。約六万人が来場され、かき氷や焼きそばなどを販売する約百もの出店がありました。その中で法人からは、「さわらび」で作成したTシャツやさをり織りを使ったヘアゴムやアームカバーなどの小物販売を行いました。一日を通して雨が降り続いていましたが、たくさんの方にブースを訪れていただくことができました。今後もこういった活動が続けられるような取り組みをして、出店していきたいと思っています。



市美展

exhibition

第六十五回福山市美術展覧会に創樹会からも作品を応募し、あゆみ苑十三名、さわらび二名の、総勢十五名の方が入選されました。おめでとうございます！

栄えある賞に多くの利用者さんの作品が入賞され、初めて賞を受ける方もたくさんおられました。スタッフとご利用者さん一緒に大喜びしました。

今後もこのことを励みに、頑張って創作活動をしていこうと思います。

さわらび ボランティア

volunteer

毎週水曜日の午前中二時間、社会福祉協議会を通じて、二名の方がボランティアに来てくださっています。なんとお二人ともアメリカ出身の方。本国でもボランティアをされていたそうで、日本でもいろいろな施設などに行かれています。

「日本語は難しいです」と言われながらも、利用者の方に寄り添おうとされる姿は、どの国でも一緒なのだと感じました。今ではお二人がボランティアに来られるのを楽しみにされている方も多いです。毎回笑顔で来て下さるお二人に、エネルギーをいただいています。

これからもよろしくお願いします！



あゆみ苑成人寮 リフレッシュ旅行

refresh

六月二十二日、二十三日、あゆみ苑ご利用者さん、ご家族の方、スタッフ合わせて十四名のグループで鳥取県皆生温泉にリフレッシュ旅行に行ってきました。

当日の天気は心配されましたが、崩れることもなく過ごしやすくなり、バスの中では体操をしたり、DVDを観たりと和やかな雰囲気の中で過ごしました。夕方には目的地の皆生温泉の旅館に到着。皆生温泉は塩分濃度の高い珍しい温泉で、保温力が高く、あがった後もぼかばかしてとても気持ち良かったです。

夕食は、蟹や刺身とお寿司と、とても豪華な夕食で、皆さん日頃食べられないごちそうの数々にとても嬉しそうにされていました。またカラオケの機械もあり、ご飯の終わり頃には皆さんでたくさん歌を歌ってとても盛り上がりしました。

翌日は足立美術館に行きました。日本有数の広大な庭園をまわり、あいにくの雨でしたが、雨に濡れた庭園をのんびり見て回り、心が洗われるかのような感じでした。お昼からはそのすぐそばの安来節記念館で安来節体験です。利用者さんとスタッフで参加させていただき、楽しく踊りました。

二日間、温泉に入っただけで、思い出深い旅行となりました。また素敵な思い出を作ってくれたと思います。

二日間、温泉に入っただけで、思い出深い旅行となりました。また素敵な思い出を作ってくれたと思います。



平成29年度 決 算 報 告

～H29年度事業報告・H30年度事業計画～

法人単位 資金収支計算書

法人単位 事業活動計算書

第一号第一様式
自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日
(単位: 千円)

勘 定 科 目	予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)
事業活動による収支			
収入			
児童福祉事業収入	57,829	60,928	-3,099
就労支援事業収入	10,374	10,751	-377
障害福祉サービス等事業収入	1,069,195	1,070,372	-1,177
経常経費寄附金収入	1,111	1,397	-286
受取利息配当金収入	5	20	-15
その他の収入	10,206	10,670	-464
事業活動収入計 (1)	1,148,720	1,154,138	-5,418
支出			
人件費支出	860,962	861,662	-700
事業費支出	76,225	74,655	1,570
事務費支出	111,277	110,739	538
就労支援事業支出	12,340	12,157	183
支払利息支出	1,782	1,784	-2
その他の支出	9,923	9,389	534
事業活動支出計 (2)	1,072,509	1,070,386	2,123
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	76,211	83,752	-7,541
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等補助金収入	3,580	3,594	-14
固定資産売却収入	20	20	0
施設整備等収入計 (4)	3,600	3,614	-14
支出			
設備資金借入金元金償還支出	22,108	22,108	0
固定資産取得支出	40,078	40,349	-271
施設整備等支出計 (5)	62,186	62,457	-271
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	-58,586	-58,843	257
積立資産取崩収入	2,348	2,529	-181
その他の活動による収支			
収入			
その他の活動収入計 (7)	2,348	2,529	-181
積立資産支出	4,806	4,808	-2
その他の活動による支出	1,000	2,080	-1,080
その他の活動支出計 (8)	5,806	6,888	-1,082
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-3,458	-4,359	901
予備費支出 (10)	0	0	0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	14,167	20,550	-6,383
前期末支払資金残高 (12)	405,539	405,539	0
当期末支払資金残高 (11) + (12)	419,706	426,089	-6,383

第二号第一様式
自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日
(単位: 千円)

勘 定 科 目	当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増 減
事業活動による収支			
収入			
児童福祉事業収益	60,928	66,310	-5,382
就労支援事業収益	10,751	12,918	-2,168
障害福祉サービス等事業収益	1,070,372	993,693	76,679
経常経費寄附金収益	1,397	5,662	-4,265
その他の収益	3,595	2,664	931
サービス活動収益計 (1)	1,147,042	1,081,247	65,795
費用			
人件費	875,098	881,620	-6,522
事業費	75,635	79,712	-4,077
事務費	110,739	105,917	4,822
就労支援事業費用	14,180	16,302	-2,122
減価償却費	61,663	55,186	6,477
国庫補助金等特別積立金取崩額	-17,755	-18,137	382
その他の費用	6,127	4,652	1,475
サービス活動費用計 (2)	1,125,687	1,125,252	435
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	21,355	-44,005	65,360
収益			
受取利息配当金収益	20	24	-4
その他のサービス活動外収益	9,604	12,388	-2,784
サービス活動外収益計 (4)	9,624	12,412	-2,788
費用			
支払利息	1,783	1,561	222
その他のサービス活動外費用	3,262	3,224	38
サービス活動外費用計 (5)	5,045	4,785	260
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	4,579	7,627	-3,048
経常増減差額 (7) = (3) + (6)	25,934	-36,378	62,312
特別増減の部			
収益			
施設整備等補助金収益	3,594	1,613	1,981
固定資産受贈額	253	739	-486
固定資産売却益	7	0	7
その他の特別収益	2,690	0	2,690
特別収益計 (8)	6,544	2,352	4,192
費用			
基本金組入額	40	20,000	-19,960
固定資産売却損・処分損	0	73	-73
国庫補助金等特別積立金積立額	3,594	1,613	1,981
特別費用計 (9)	3,634	21,686	-18,052
特別増減差額 (10) = (8) - (9)	2,910	-19,334	22,244
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	28,844	-55,712	84,556
繰越活動増減差額 (12)	551,352	573,482	-22,130
当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	580,196	517,770	62,426
基本金取崩額 (14)	0	0	0
その他の積立金取崩額 (15)	0	33,600	-33,600
その他の積立金積立額 (16)	17	18	-1
次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)	580,179	551,352	28,827

法人単位 貸借対照表

第三号第一様式

平成 30 年 3 月 31 日 現在

(単位: 千円)

資 産 の 部	負 債 の 部
科 目	科 目
流動資産	流動負債
現金預金	事業未払金
事業未収金	1年以内返済予定設備資金借入
未収補助金	預り金
原材料	職員預り金
立替金	仮受金
前払費用	賞与引当金
固定資産	固定負債
基本財産	設備資金借入金
土地	退職給付引当金
建物	負債の部合計
その他の固定資産	純 資 産 の 部
建物	基本金
構築物	第一号基本金
機械及び装置	国庫補助金等特別積立金
車輛運搬具	その他の積立金
器具及び備品	修繕費積立金
権利	備品等購入積立金
退職給付引当資産	施設整備積立金
修繕費積立資産	7 次期繰越活動増減差額
備品等購入積立資産	(うち当期活動増減差額)
施設整備積立資産	純資産の部合計
差入保証金	負債及び純資産の部合計
長期前払費用	
資産の部合計	

平成29年度 各事業所の主な事業報告

- 福山六方学園** ・家庭的な小グループの関わりで落ちついた生活を送ることができた。具体的な入所には至らなかったが、幼児受け入れ体制も整ってきたと思う。グループホーム建設が延期になったことは残念であったが、引き続き建設に向けて準備していきたい。
- あゆみ苑成人寮** ・利用されている皆さんの多様化する障がいの特性やご希望に対応できるよう、チームの支援力や支援体制の強化を図った。また、街や地域に出掛けるなど今まで以上に地域生活を意識した支援を行った。
- サポートセンターひびきの家** ・水呑町内に3グループホームを運営し、知的・身体・精神・発達障がいと様々な方達の支援を行ってきた。法人内外の研修にも積極的にスタッフを派遣し、スキルアップを図った。
- サポートセンター友の家 さわらび** ・安心安全のスプリンクラー設備が12ホームに整い楽しい暮らしを目指した。
・4月に定員を30名から40名に増員した。また、従来通り事業所内でグループ分け(さわらび、きらり)をし、体力づくり、レクリエーション、アート活動等、それぞれの特性を活かした活動を行なった。
- さくら** ・さくら全体での作業工程の見直しを行い、生産性が向上できる取り組みを行った。また、新たな作業を行う事で作業収入が増え、平均工賃月額の上昇が出来た。
- ONE-すてつぷ** ・新たに放課後等デイサービス事業「ふぁんたす」が立ち上がり、事業所の機能分担が明確になった。児童発達支援を含めた障がい児通所支援事業及び幼児の日中一時支援事業、障がい児等療育支援事業の実施により、幼児期から学齢期にかけての様々なニーズに対応していた。
- ふぁんたす** ・2018年1月より、個別療育に重点を置いた放課後等デイサービス事業所「ふぁんたす」として事業を開始した。学齢期の子どもたちが、グループ活動や個別療育において、日常生活や社会生活に必要な力を身に付けるための療育支援を行った。
- ヘルプステーションあしすと 相談支援センター風ぐるま** ・現在の利用者の抱える高齢化、重度化に伴い、多様化するニーズに対して、関係機関と連携し、可能なサービスを模索してきた。
・成人、児童の方を対象にサービス利用に必要な計画相談を行うことを中心にしながら、生活の中で必要な支援・相談対応を行った。また、すこやかセンター内の福山市基幹相談支援センターにも相談員1名が常駐して市内の相談に対応してきた。
- 法人本部** ・人材確保について、現事業を行う上で人材は確保できたが、今後の事業拡大を想定すると、今まで以上、創樹会の魅力発信を行わなければならない。

平成30年 各事業所の主な事業計画

- 福山六方学園** ・グループホーム建設が延期になったことにより、青年期の人たちの日中活動の充実を最優先課題として取り組みたい。そして、青年期の人たちの退所後の課題として、学齢児の日中一時支援・短期入所事業による子育て支援・家族支援についてさらなる検討を重ねていく。
- あゆみ苑成人寮** ・今年度は特に、利用されている皆さんとご家族のつながりを意識した個別な支援を進める。日中活動では、皆さんの作品をインターネットで紹介するwebサイト「福六アーカイブズ」を公開する。
- サポートセンターひびきの家** ・利用される方の年齢に伴う変化等を見逃さず、ご家族や関係者と連携を取りながら地域での生活を支援する。
・地域において自らの意思で望む居心地の良い暮らしの場づくりを促進する。
- サポートセンター友の家 さわらび** ・利用者の方々に安全で快適に利用していただけるように細やかな配慮をし、より良い支援を目指す。スタッフは一人ひとりが生き生きとやりがいを持って働くことができるように、日々、改善を加えながら事業所運営を行う。
- さくら** ・障がいの重度・高齢化に対応するため、作業内容の検討や見直し、安心で安全な施設作りを目指す。鞆の津ミュージアム+Caféは、昨年の10月から休止状態が続いており、今後の活用について検討する。
- ONE-すてつぷ** ・今年度は、幼児から学齢期のより細やかな療育支援体制の構築を目指して、実施4事業と相談支援事業所との事業間連携をさらに推し進め、児童や保護者にとって安心して相談でき、利用していただける事業所にしていきたいと考えている。
- ふぁんたす** ・通って来られる学齢期のお子さん一人ひとりに合った活動プログラムを通して、持っている力を十分に発揮し地域の中で生き生きと生活していけるように支援を行なっていくことを目指す。また、保護者・学校等関係機関とも連携を図りながら発達支援を充実させていく。
- ヘルプステーションあしと** ・障害特性を軸とした統一した支援を行っていく為、スタッフは専門だけでなく様々な研修に積極的に参加し、部署内で議論し、支援の質の向上に努める。
- 相談支援センター風ぐるま** ・契約をさせて頂いているみなさんの生活の希望やサービス利用の状況について、話を伺いながらモニタリングや訪問を通して関係機関やサービス事業所などと連携を取って生活のサポートを行う。
- 法人本部** ・「障がいのある人たちの人生を支える」「嬉しいサービス」提供事業体としての法人運営を、法人事務局が潤滑油となり機能できるようにする。

ありがとうございました (2018.4.1~2018.6.30)

- *お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。
(敬称略・順不同)
*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

- ボランティア
・4/13 演奏ボランティア(しろくま楽団4名)
・4/19 餅つきボランティア(匿名2名)
※創樹祭ボランティア(計19名)・水呑女性会(5名)
・水呑ボランティアの会(7名)・福山市立大学(2名)
・関係者(4名)・匿名(1名)
- ご寄贈
・水呑町西自治会・関係者8名・水呑西子ども会
・株式会社ミウラ愛生会浦上寮

実習生・交流

保育士	4月16日~10日間	穴吹医療福祉専門学校	2名
	5月14日~10日間	福山平成大学	3名
	6月 4日~10日間	ノートルダム清心女子大学	4名
	6月18日~10日間	比治山短期大学	2名
社会福祉士	4月 2日~5月 2日	広島福祉専門学校	1名
	5月14日~7月31日	穴吹医療福祉専門学校	1名

今後の予定

- 全体
8月11日…いのちの日
- 福山六方学園
7月…デイキャンプ
8月…夏祭り
9月…親子行事
- あゆみ苑成人寮
7月…キャンプA班・観劇
8月…夏祭り
9月…行楽
- さわらび
8月…宿泊体験
9月…日帰り旅行
10月…宿泊旅行
- サポートセンター友の家
7月…GH交流会・夏の食事会
ふうりん集い(そうめん流し)
8月…GH交流会・ふうりん集い
9月…GH交流会・ふうりん集い

すてっぷ

お友だちと泥んこ遊びをした時の一枚を紹介します！ペットボトルに自分で水を入れて、前庭で水を流し、川を作りました。川が完成すると子どもたちは大喜び！完成した後は、子どもたちがスタッフの手に泥をつけて、スタッフが「ドロドロになっちゃう〜」という反応をすると大笑いしていました！お友だちと一緒に遊ぶ楽しさが伝わるベストショットです！



あしすと

月1回ヘルパーと外出していて、今回は散髪に行きました。初めて行くお店だったので少し緊張していたようですが、散髪中は表情も良く、鏡に映る自分の姿を見ていました。苦手なドライヤーも頑張ってもらうことができました。散髪が終わるとさっぱりした表情をされていました。涼しい髪型にしてもらったので、これから暑い夏を迎える準備ができました。今年の夏も、暑さに負けず元気いっぱい一緒に楽しくお出かけしましょう。

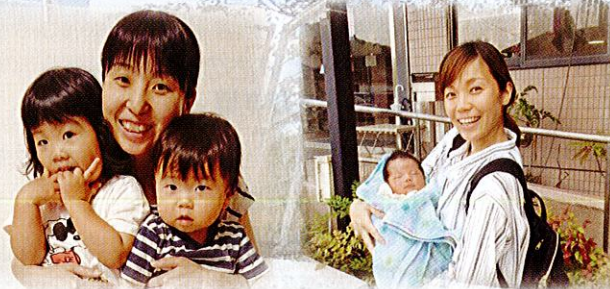
あゆみ苑

現在、あゆみ苑成人寮に入所利用されている久保典子さん。日中活動で夢工房に所属されており、さをり織りに熱心に取り組まれています。驚くべきは、その集中力！ひとたび活動を開始されると、時間いっぱい休憩をされる事無く織り続けられます。縦糸・横糸の色も全てご自分で考え抜かれ毎回、素敵で色鮮やかな織りを仕上げられます。その頑張る姿勢にスタッフも脱帽するばかりです。笑顔がとても素敵な典子さん。これからも素晴らしい作品を生み出してくださいね。スタッフ一同応援をしています。



さくら

昨年に引き続き、さくらでは、スタッフに元気な赤ちゃんが誕生しました！新しい家族を迎えて幸せいっぱいのことと思います。職員一同すこやかな成長をお祈りしています。またさくらにも顔を見せに来てください！加えて、育児休暇に入られていた兼田さんも6月からさくらで復帰されました。暑い季節になりますが、仕事も育児も力を合わせて乗り越えていきましょう！



社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp> ☒ fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp)

事業所一覧

福山六方学園(障害児入所施設)(障害児短期入所事業)
あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護事業)(就労移行支援事業)(短期入所事業)(日中一時支援事業)
サポートセンターひびきの家(共同生活援助事業)
サポートセンター友の家(共同生活援助事業)
さわらび(生活介護事業)(日中一時支援事業)
ヘルパーステーションあしと(居宅介護・行動援護事業)(移動支援事業)
ONE-すてっぷ(児童発達支援事業)(放課後等デイサービス)(日中一時支援事業)(障がい児療育等支援事業)
ふぁんたす(放課後等デイサービス)
相談支援センター風ぐるま(一般相談支援事業)(特定相談支援事業)(障がい児相談支援事業)
さくら(就労継続支援B型事業)(生活介護事業)

あとがき

大雨により各地で被害が出ておりますが、皆さん息災でしょうか？

学園でも雨水が道に流れ、あわや避難かといったところでした。災害はいつ起こるかわかりません。防災意識を高め、利用者さんが安全で楽しく過ごせるよう、努めて参りたいと思います。

(編集スタッフ一同)